

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和5年 2月 28日

事業所名:放課後等デイサービス やってみる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2部屋を活動内容や自由時間などで使い分けている。	活動内容に沿って、小集団や個別に分けた活動を行い個々に合わせた支援を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか			○	保育士を採用し対応している。	児発管不在の期間があり、支援計画を立てることができない。早急に児発管配置すべく求人活動を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差など転倒防止などの対策をとっている。	建物の構造上、バリアフリーが難しい。必要があれば可能な限り対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日申し送りをしている。	今後も全職員で意見交換をしながら業務改善に取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度も実施。	保護者からの意向を深く受け止め、改善に向けて取り組んでいく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			集計結果をHPで公開予定。	HPで公開。頂いた意見をより良いサービスに繋げていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施できていない。	法人全体で実施に向けた検討を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修に参加している。	研修会は支援の質の向上と捉え、可能な限り参加していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時にアセスメントを行っている。	毎年聞き取りをおこない、保護者のニーズ、利用者の課題などを整理し、計画の作成、実施に取り組む。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを使用している。	利用者の年齢や状態に合わせてながら、アセスメントシートの改善に努めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全職員で意見交換しながら立案している。	立案、実施、振り返りを徹底し、個々に合わせた支援内容を充実させていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの実施期間を設定。発展させている。	定着化を目標に置き、徐々に発展できるように計画していく。個々に合わせた内容に臨機応変対応できる柔軟性が必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇で活動プログラムに変化をつけている。	利用者の特性や年齢に応じた内容をより細かく設定し、どの利用者にも満足してもらえるようにしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所での活動、事業所外での運動と組み合わせている。	個別活動、集団活動、偏ることがないように計画を作成していく。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			申し送りの時間に前回の様子など共有している。	活動時の役割分担や個別対応の必要性など職員間で意見交換しながら支援のポイントを共有していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気付いたことは当日中に共有することを徹底している。	気づきや反省などの振り返りは今後も継続し、支援の充実を図っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録した内容を確認し、支援向上につなげている。	正確な書き方や統一した表現に整理しながら、見直しを続けていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施。	決められたモニタリング時期以外にも積極的に保護者と情報共有を行い、支援計画につなげていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			複数の活動を組み合わせ実施している。	利用者の特性や年齢に合わせた活動内容の整理を定期的に行っていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		児発管不在期間は保育士が出席している。	児発管代理として保育士が出席することを保護者や相手方に理解していただき、しっかりと務めを果たしていく。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		情報は保護者を通じて行い、迎え時に学校と共有を行っている。	学校によって情報共有に差がある。学校との関係構築が今後の課題である。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		定期的な検診などがある利用者には情報を共有してもらっている。	現在、医療的ケアの必要な利用者はいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者や相談支援員と共有している。	保育園や児童発達支援事業所と直接共有することはなかったが、状況に応じて必要な場合もあることを認知しておく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度、該当者なし。	今後、該当者がある場合を想定して、準備を進めていく必要がある。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	専門機関との連携は図れていない。	専門機関が企画する研修等に積極的に参加し、支援につなげていく必要がある。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	計画していたが、コロナで実施できなかった。	来年度はコロナも収まってくると思うので、地域で活動しているスポーツ少年団等との交流を計画していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていない。	職員体制に余裕がないことで参加できていないが、協議会の取り組みを知るためにも参加は必要なことと考える。
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時、保護者との情報共有を大事にしている。	連絡帳を利用し保護者からの発信を受け取り、要望があれば個別面談など体制を整えていく。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	実施できていない。	職員にそのスキルを持った者がいない。外部から講師を派遣など実施に向けての方法を考えていく。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。	契約時以外でも常に説明できるように全職員が周知していく。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談があった場合は随時対応している。	適任とされる児発管が不在期間は他職員が対応することになるので、職員の資質向上が必要である。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施できていない。	職員間で実施を進めていたがコロナで見合わせた。来年度は実施できるように計画を立てていく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			電話で確認を取り迅速に対応している。	苦情対応の責任者は誠心誠意対応すること。他職員も対応について周知しておく必要がある。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SNS発信や会報を発行している。	今後も活動の内容や利用者の成長をお知らせするとともに個人情報などには十分注意して発信していく。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			個人データの持ち出し等は禁止している。	定期的に個人情報の扱い方を職員間で周知していく。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードや写真などを使用している。	交換ノートを作ったり、タブレットなど興味のあるものを利用していく。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	図れていない。	地域柄、住民との交流の難しさを感じる。今後は活動に合わせた行事を開催し、地域を超えた交流ができればと考えている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを作成している。	避難経路など保護者に配布することや、事業所入り口に掲示していることで周知を図っていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		長期休暇を利用して行っている。	長期休暇中に地震、火災の避難訓練を実施。来年度は本格的な訓練をしていく必要がある。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の研修会に参加している。	県社会福祉会の虐待防止研修会に毎年職員が参加している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明している。	現在、身体拘束が必要となるような利用者はいないが、今後のために説明方法を検討していく必要がある。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取りを行っている。	現在、食物アレルギーのある利用者はいない。アレルギーがある場合は、医師の指示書を職員間で周知していく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット報告書は準備し活用している。	ヒヤリハット報告書を参考に職員間で周知徹底していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)